

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「ムジンバ県バウラ地域中等学校女子寮建設計画」引渡式

2014年7月31日



左から：オリパ・ムヤバ国会議員と西岡周一郎大使が女子寮引渡しのためテープカットを行う様子。

2014年7月31日、西岡周一郎大使は、マラウイにおける女子生徒の教育アクセス向上のために建設された、ムジンバ県バウラ地域中等学校女子寮の引渡しを行いました。

バウラ地域中等学校の生徒たちは、日々、往復平均30キロを歩いて通学します。この状況は、授業における集中力の欠如や高い退学率・欠席率につながっています。この課題を解決するため、日本政府は北部教育管区に対し、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じた「ムジンバ県バウラ地域中等学校女子寮建設計画」に110,463米ドル（現在のレートでおよそ4,300万マラウイクワチャ）を供与しました。この支援により、女子学生合計112人が収容できる女子寮2棟の建設とマットレスを供与しました。

本案件は、女子学生に対して安全な寄宿施設で十分に休養が取れ、授業に集中できるよう支援し、いずれはコミュニティにおける頼もしい女性リーダーとなれるよう女性の社会的地位向上に貢献できるよう支援するものです。この式典は、オリパ・ムヤバ、北東ムジンバ国会議員が同席し、女子寮の完成を祝福しました。